

|        |     |     |        |
|--------|-----|-----|--------|
| 開講期間   | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 1年前期   | 1   | 2   | 選択     |
| 担当教員   |     |     |        |
| 古郡 康人  |     |     |        |
| 添付ファイル |     |     |        |

|      |   |
|------|---|
| 講義概要 | 専門的な知識と技術を習得する上で欠かせない、人間らしい豊かな感情・柔軟かつ明晰な思考力を、国際化社会において大切な日本文化への理解も含め、獲得することをめざす。<br>日本の近代小説を取り上げて、その豊かな作品世界を解説するためのキーコンセプトをテーマとして設定し、日本の近代化の特質・文化的位置を検証する。  |
| 授業計画 | <p>1 神話と歴史（大江健三郎「M/Tと森のフシギの物語」）<br/>四国の川を遡った武士集団が山奥に創建した独立国は、やがて大日本帝国との全面戦争に突入する。神話と歴史について考える。<br/>アクティブラーニング④「授業後に深化発展の自主学习」<br/>準備学習：宇宙や文化の起源についてのイメージや思いをまとめておく。（1時間）<br/>課題：作品世界を描き出した作者の想像力について、自分の考えをまとめる。（2時間）</p> <p>2 幕末維新（島崎藤村「夜明け前」）<br/>木曾路馬籠の本陣の主人青山半蔵はいかに生きたか。近世から近代へ、激動の幕末維新时期の特質を理解する。<br/>アクティブラーニング④「授業後に深化発展の自主学习」<br/>準備学習：幕末維新时期とはどんな時代だったか調べ考えておく。（1時間）<br/>課題：西洋近代が日本にもたらしたものについて自分の考えをまとめる。（2時間）</p> <p>3 日露戦争（司馬遼太郎「坂の上の雲」）<br/>日露戦争時の陸海軍で大きな働きをした秋山好古・真之の兄弟。戦争の悲惨について改めて確認する。<br/>アクティブラーニング④「授業後に深化発展の自主学习」<br/>準備学習：明治維新以後に日本が関わった戦争について調べておく。（1時間）<br/>課題：戦争を絶対にしたために何が必要か、自分の考えをまとめる。（2時間）</p> <p>4 文明開化の行方（夏目漱石「坊っちゃん」）<br/>坊っちゃんと山嵐はうらなり君のために赤シャツに戦いを挑む。坊っちゃんの「正直」は日本の近代に定着するか、その行方を見届ける。<br/>アクティブラーニング④「授業後に深化発展の自主学习」<br/>準備学習：「正直」というモラルについて、自分はどう思っているか、まとめておく。（1時間）<br/>課題：坊っちゃんは勝者だったのか敗者だったのか、自分の考えをまとめる。（2時間）</p> <p>5 家族制度（森鷗外「半日」）<br/>博士の奥さんは夫の母親を「あの人」としか呼ばなかった。家族制度について考える。<br/>アクティブラーニング④「授業後に深化発展の自主学习」<br/>準備学習：嫁と姑という人間関係が問題となることが多い理由について考えておく。（1時間）<br/>課題：作品「半日」は、博士の奥さんを批判していたのか、自分の考えをまとめる。（2時間）</p> <p>6 教育制度（中勘助「銀の匙」）<br/>伯母の力で育った少年は学校における教育の力に立ち向かう。近代学校制度について理解を深める。<br/>アクティブラーニング④「授業後に深化発展の自主学习」<br/>準備学習：小・中・高の学校生活で学んだものについて振り返っておく。（1時間）<br/>課題：「銀の匙」の主人公の人間観について、自分の考えをまとめる。（2時間）</p> <p>7 都市空間（樋口一葉「たけくらべ」）<br/>それぞれの運命を前に美登利と信如は吉原で生きた。都市空間など、無意識を意識化して見えてくるものについて考える。<br/>アクティブラーニング④「授業後に深化発展の自主学习」<br/>準備学習：家、大学、旅先の土地、などの空間に対して心がどう動くか、考えておく。（1時間）<br/>課題：プロットを生成する人物・事件だけでなく、背景となる空間に注目することで見えてくるものについて、自分の考えをまとめる。（2時間）</p> <p>8 土地と伝承（高樹のぶ子「氷炎」）<br/>京都洛北の地で氷見子と佐和の母娘はどこへ向かうのか。土地にまつわる伝承について考える。<br/>アクティブラーニング④「授業後に深化発展の自主学习」<br/>準備学習：土地にまつわる伝承にはどのようなものがあるか調べておく。（1時間）<br/>課題：伝承を視野に入れた読解が、作品「氷炎」で成立するか、自分の考えをまとめる。（2時間）</p> <p>9 仏教の受容（折口信夫「死者の書」）<br/>当麻寺から藤原南家郎女は二上山の天津皇子を鎮魂する。いかにして異文化は受容されるか、理解を深める。<br/>アクティブラーニング④「授業後に深化発展の自主学习」<br/>予習：彼岸の中日について調べておく。（1時間）<br/>課題：異文化はどのようにして受け容れられるのか、自分の考えをまとめる。（2時間）</p> |

|                     |   |  |
|---------------------|---|--|
|                     | 10  | キリスト教の受容（遠藤周作「深い河」）<br>インドのガンジスで日本人神父は愛の河に辿り着く。いかにして異文化は受容されるか、理解を深める。<br>アクティブラーニング④「授業後に深化発展の自主学习」<br>準備学習：自分の宗教意識についてまとめておく。（1時間）<br>課題：ガンジーの宗教観について、自分の考えをまとめる。（2時間）   |
|                     | 11  | 魂の行方（村上春樹「海辺のカフカ」）<br>カフカ少年は四国高松に向かう、ナカタ老人もまた。現代小説にも底流する日本の伝統的思考を探る。<br>アクティブラーニング④「授業後に深化発展の自主学习」<br>準備学習：「物思へば沢の螢もわが身よりあくがれ出づる魂（たま）かどぞ見る」（和泉式部）はどのような内容の歌か考えておく。（1時間）<br>課題：作品「海辺のカフカ」は、魂の行方をどう捉えていたか、自分の考えをまとめる。（2時間） |
|                     | 12  | 東洋と西洋（夏目漱石「草枕」）<br>鏡が池に浮かぶ那美さんに「憐れ」はなぜ必要か。漱石における東洋と西洋の位置について考える。<br>アクティブラーニング④「授業後に深化発展の自主学习」<br>準備学習：東洋と西洋とが自分の中でどう位置付けられているか確認しておく。（1時間）<br>課題：「草枕」結末の場所が吉田の停車場であったことについて、自分の考えをまとめる。（2時間）                            |
|                     | 13  | 近代人の心性（森鷗外「カズイスチカ」）<br>若き日の花房医学士の臨床記録（カズイスチカ）が示す意味とは。鷗外が見つめた日本近代の光と影について考える。<br>アクティブラーニング④「授業後に深化発展の自主学习」<br>準備学習：「臨床記録」という言葉から想起する事柄についてまとめておく。（1時間）<br>課題：花房医学士の「カズイスチカ（臨床記録）」をどう評価するか、自分の考えをまとめる。（2時間）               |
|                     | 14  | 女性であること（大原富枝「婉という女」）<br>亡父野中兼山の罪により四十年間幽閉された婉が見つめたもの。彼女が批判する血統の論理について考える。<br>アクティブラーニング④「授業後に深化発展の自主学习」<br>準備学習：女性というジェンダーについての考えをまとめておく。（1時間）<br>課題：血統の論理が築き上げるものについて、自分の考えをまとめる。（2時間）                                  |
|                     | 15  | 人間であること（大西巨人「神聖喜劇」）<br>陸軍二等兵東堂太郎は冬木とともに叫んだ。「止めて下さい」。圧倒的な迫力のクライマックスの意味を考える。<br>アクティブラーニング④「授業後に深化発展の自主学习」<br>準備学習：人間を人間として視る、ということについて考えておく。（1時間）<br>課題：責任と自由との関係について、自分の考えをまとめる。（2時間）                                    |
| 授業形態                | 講義形式で実施する。毎回ミニレポートの提出を求める。<br>アクティブラーニング：①:0回、②:0回、③:0回、④:15回、⑤:0回、⑥:0回   |  |
| 達成目標                | 1 日本の近代化・近代文化の特質や諸相が理解できる。<br>2 日本の近代小説というジャンルへの関心を高めることができる。<br>3 日本の近代化・近代文化の特質や諸相を自己の問題として受けとめることができる。<br>4 自己の考えを周到明晰に記述することができる。 |  |
| 評価方法・フィードバック        | 各回提出のミニレポート（60点）、および、期末レポート（40点）を総合して評価する。<br>ミニレポートで提出された質問には適宜回答し補足説明を行なうことで、フィードバックする。   |  |
| 評価基準                | トータル評価で90点以上を「秀」（1、2、3、4）、89～80点を「優」（1、2、3）、79～70点を「良」（1、2）、69～60点を「可」（1）とし、59点以下を「不可」とする。ただし、カッコ内は達成することができた「達成目標」の項目。               |  |
| 教科書・参考書             | 教科書：特に指定しない。毎回、資料を配布する。<br>参考書：前田愛『文学テキスト入門』（ちくま学芸文庫）。<br>その他、授業で適宜紹介する。  |  |
| 履修条件                | 言語表現における最も高度な達成である文学に対して、知的好奇心を以て授業に臨むこと。   |  |
| 履修上の注意              | 講義には必ず出席すること。また、他の者の迷惑になるので私語は厳禁する。   |  |
| 準備学習と課題の内容          | ・「授業計画」に記載されている「準備学習」（1時間）を必ず行うこと。<br>・「授業計画」に記載されている「課題」は、授業内容を踏まえた課題レポートを指示するので、必ず提出すること。   |  |
| ディプロマポリシーとの関連割合（必須） | 知識・理解:10%、思考・判断:20%、関心・意欲:30%、態度:20%、技能・表現:20%  |  |
| DP1 知識・理解           |   |  |
| DP2 思考判断            |   |  |
| DP3 関心意欲            |   |  |
| DP4 態度              |   |  |
| DP5 技能・表現           |   |  |